

college news

# SUGINO

20  
26  
no.49

# 大学報刷新

卒業生、輝いていきます。7アツ/37界の先輩たちの活躍  
今年も充実。一産学・博学・地域連携—  
オー7ノキャンパスへようこそ。

年刊杉野服飾大学報

# ファッション産業界が直面する課題に向き合い、 解決策に取り組める人材を育成します

杉野服飾大学は、昨年創立100周年を迎え、ファッション造形やデザインだけでなく、ファッションビジネス、メディア映像表現、スタイリング、VMDさらには歴史・文化まで幅広く学べる、日本で唯一のファッション分野に特化した総合大学に発展してきました。

現在、日本のファッション産業界はアパレルDXに対応できるファッションデジタルに特化した人材など、ファッション分野におけるSDGsとDX化の推進による新しい付加価値の創造と産業構造の転換等、様々な課題に直面しています。このような状況の中で、未来のファッション産業の道を切り拓くチャレンジ精神を持って、芸術性・技術力と文化的教養に基づいた創造力を養い、課題解決を主導できる自立する能力のある人材を育成することが杉野服飾大学のミッションです。

また、本学の特長としては、2年次からのコース選択や転科制度により、入学後に進路を柔軟に決められる点や、文科省全国学生調査で全国1位をはじめ高い評価を得た少人数制による手厚い教育指導、専門的・実践的な教育による産学連携と高い就職率(2025年度98%)が挙げられます。

服飾学部服飾学科は入学時にモード系とビジネス系のどちらかを選択しますが、1年次では共通でファッション造形およびビジネスの基礎科目を履修した後、自分の適性を見極めて2年次から専門コースを選択し履修します。

また、服飾表現学科は、SNS時代の表現者としてファッションの価値を人々に伝える様々な表現世界で活躍する人材を養成します。ファッション表現の専門領域に対応する4つの分野を幅広く学び専門的な資質や自分のイメージを表現する力を修得します。

現在、ファッションの世界でも持続可能な開発目標(SDGs)に沿った取組みが求められています。歴史や伝統を学びファッションの未来を創造する人材の育成を目指して、2023年度に服飾文化学科を設置しました。

生成AIの出現により、今ある仕事の半分はなくなるともいわれますが、デジタル全盛の時代になっても、ファッションの世界では人間の美意識・感性が求められ、高品質の服作りには繊細で複雑な手仕事は不可欠です。ファッションに関する様々な分野において高度な知識・スキルを持った人材が必要です。むしろこれからは生成AIも活用できる人材のニーズが高まってくると考えます。

杉野服飾大学は、ファッションの未来を創る大学として、皆さんが目標に向かってチャレンジし、創造力と個性を伸ばす機会と環境に満ちあふれています。



杉野学園理事長  
杉野服飾大学学長 **加藤 敬**

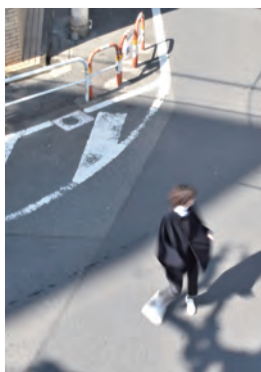
## 学報リニューアル!

杉野服飾大学報は、発行スタイルを見直し、年2回から年1回発行へとリニューアルしました。1年間の教育・研究・学生・卒業生の活動を一冊に凝縮し、より充実した内容でお届けします。あわせて表紙デザインも一新し、これまでとは異なる印象へと生まれ変わりました。新しい学報が、本学の“いま”をより鮮やかに伝えます。ぜひご覧ください。

## CONTENTS

- 01 理事長・学長メッセージ
- 02 コンテストに挑戦!
- 03-06 2025年度【大 学】卒業制作・卒業論文  
【大学院】修士制作、学会発表
- 07 初年次教育、授業紹介
- 08 国際交流、研修旅行
- 09 大学祭、イベントに参加しました!
- 10 産学連携、博学連携、地域連携
- 11 高大連携、学内外展示
- 12 オープンキャンパスへようこそ。、資格課程
- 13 教員の教育研究活動・研修会、新任の先生
- 14 卒業生、輝いています!
- 15 キャリアサポート、INFORMATION

## 表紙の写真



デザイナー 遠藤 幹太 Kanta Endo

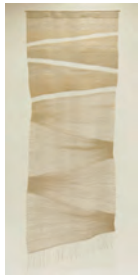
本学服飾学科、モードクリエーションコース2017卒業、大学院造形研究科造形専攻2019年修了。在学中に自身のブランド「Kanta Endo」を設立。ブランドコンセプトは「ルーズだが、品のある服。」デザインから縫製まですべての工程をデザイナー自身で行う。ポップアップショップを精力的に展開し、服を着る人の姿を見届けるところまでデザイナーが直接関わる姿勢を大切にしている。2025年9月、実店舗「traces」を清澄白河にオープン(2026年12月までの期間限定)。



# コンテストに挑戦!

コンテストは、夢を追う世界で外部の専門家の審査を受けられるチャンス。学生たちは自分の個性とアイデアを武器に、さまざまな舞台に挑戦しています。受賞という結果だけでなく、その過程で得た発見や成長も大きな財産。ここでは、2025年度でのその挑戦の軌跡と成果の一部をご紹介します。キミも挑戦!

## ジャパンテキスタイルコンテスト2025 シーズ賞



このコンテストは日本の毛織物産地である尾州で「次代のテキスタイル産業を担う人材の発掘・育成」を目指し開催されています。この度、「学生の部」でテキスタイルデザインコース鈴木葉璃さんの作品がシーズ賞を受賞しました。日々さまざまな目に見えないほどの小さな影響が積み重なることで、結果そのものにも変化が生じている様子をテーマに制作した作品です。緯糸に風合いや太さの異なるラミーやリネンの糸を使

用し、角度によって生まれる密度の密と粗の変化からリズムが感じられる作品になっています。

テキスタイルデザイン研究室 田口 雅子

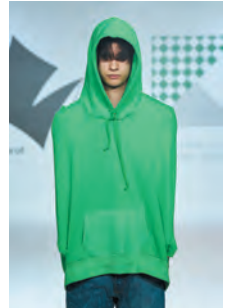


## Next Fashion Designer of Tokyo 2026 東京都知事賞優秀賞受賞!

本コンテストは、東京都が主催する都内在住・在学の学生・生徒を対象としたコンクール。未来を担う若手デザイナーの発掘と育成を目的としています。受賞者には賞金の他、ブランディングやパリの発表支援などがサポートされます。今回、フリー部門で本学4年生が東京都知事賞大賞に次ぐ、優秀賞を受賞しました!

大学2年次に「現代デザイン論」や小林先生と星野先生の「デザイナー養成特別強化ゼミ」を受講してはじめて、これまで見てきた服、身の回りのものに込められたデザインの意図が紐解けるようになる感覚がありました。それを追いかけて、気づけば東京のコレクションブランドのアトリエで働きはじめていました。

今回コンクールに応募してたくさんの事を学び、経験しました。縫製仕様、パターン、素材選定、人物像、服をつくるには沢山の工程がありますが、私が一番好きなのは目的を



作品名: Swipe up  
画像提供: 東京都産業労働局



を見つけ、自分だからこそできるアイデアやデザインを考える時間です。自分の服が誰かの小さな源になったらいいなと思っています。

服飾学科  
モードクリエイションコース 4年  
高橋 紅梅

## 2025 京友禅図案コンペ 優秀賞

2025 京友禅・図案コンペにおいて優秀賞という素晴らしい賞を頂き大変光栄です。「民族衣装に映す 感性と文化」というテーマに、私は大好きなチェコ共和国の民族衣装に注目し、イメージカラーである赤色と白色、国花であるスノードロップとクサノオウをモチーフにデザインしました。京都・東京で開催された展示会では、国内外から出品された数多くの作



品が展示され、自国の文化・風景・自然・伝統等を表現したデザインを見ることが出来ました。実際に友禅染をされた作品もあり、京友禅の魅力に触れることが出来ました。

服飾学科・テキスタイルデザインコース 3年  
星 奈々加



## 学生ビジネスプランコンテスト アイデア賞

3年連続  
受賞

一般社団法人学生サポートセンターが主催する「令和7年度(第23回)学生ビジネスプランコンテスト」にて服飾学科ファッションビジネス・マネジメントコース3年生の1チームが総合三位に相当する「アイデア賞」を受賞しました。



日本の伝統文化である「着物」を題材に、国内の若年層および外国人旅行者向けの体験型施設をビジネスモデルとして企画提案を行い、全国の大学生および大学院生のレベルの高い企画の中から見事に受賞を果たしました。今年で3年連続での受賞となりますが、コースの学習領域の正当性と学生の成長が確認できる機会としても重要です。次年度も積極的にチャレンジしたいと考えます。

ファッションビジネス・マネジメントコース 主任 鈴木 康久

## The TOKYO 48 Hour Film Project 2025 審査員特別賞

自主制作映画『絵空事』が「The TOKYO 48 Hour Film Project 2025」において審査員特別賞を受賞しました。私は表現学科メディア表現専攻に在籍し、将来はフォトグラファーを目指しております。授業ではメディアに関する企画や制作に取り組むことが多いため、写真表現における「画作り」の力を伸ばすために、自主制作映画の撮影に挑戦しています。本作は学内の友人や先生方と協力し日野キャンパスで撮影しました。日頃から自主的な学びも支えてくださる教職員の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

服飾表現学科 メディア表現専攻 3年  
富田 幸杜



自主制作映画  
『絵空事』ポスター

## TOKYO AI Fashion Week 2025 A/W 最終審査に7名

流通イノベーションコース4年の必修科目「ファッションテック論」にて、受講生全員がTOKYO AI Fashion Week 2025 A/Wに応募し、7名が最終審査にノミネートされました。テーマは「新ジャポニズム (Neo-Japonisme)」。伝統的な日本文化を再解釈し、AI画像生成技術によるデジタルアートを融合させた作品を制作しました。学生たちは自らのイメージを生成AIプラットフォーム「Maison AI」にプロンプトや画像を入力して新たなファッション表現に挑戦した成果だと考えています。



服飾学科 ファッションビジネス・流通イノベーションコース 主任 五月女 由紀子

2025年度

大 学

服飾学部 服飾学科 服飾表現学科

卒業制作・卒業論文

大 学 院

造形研究科造形専攻

修了制作

学びの集大成として取り組む卒業制作・卒業論文、そして大学院修了制作。それぞれの関心や課題意識を起点に、試行錯誤を重ねながら形にした作品や研究には、これからの可能性が凝縮されています。どのような思いで卒業・修了研究に向き合ってきたのか、大学、大学院の各コース・専攻を代表する学生たちの研究テーマを紹介します。

### 「-drape-」ドレープによるデザインの効果

卒業制作では「drape」をテーマに、女性の身体を美しく見せるシルエットと、ドレープの綺麗な出方を追求した作品制作に取り組んだ。素材の落ち感や分量、パターンの構成によって表情が大きく変わるドレープの魅力に向き合い、何度も試作と修正を重ねながら、自分が納得できる形を探り続けた。一年間かけて準備してきた卒業制作発表会本番を無事迎えられたことに、今は大きな達成感を感じている。振り返るとあっという間の一年だったが、試行錯誤を繰り返した時間は、自分にとってかけがえのない経験となった。



大 学 服飾学科  
モードクリエイションコース  
安部 衣央里

### Night & Light フレアとギャザーによるボリュームと シルエットの調整についての研究

夜と光という対照的なイメージのアイドル衣装をテーマに、フレアとギャザーという構成の違いによって生まれるボリュームやシルエットの調整について研究しました。紫を基調に1点目は黒を、2点目は白を組み合わせ、チェック柄やレース生地を用いて制作。ジャケットは2作品共通のデザインとすることで統一感を持たせています。スカートはフレアとギャザーの2種類を制作し、比較しました。フレアのスカートは一定の広がりを保ち安定したシルエットをつくるのに対し、ギャザーのスカートは動きに応じて揺れや陰影を生み出す構造であることがわかりました。仕上がりを想像しながらパターンを展開し、タオルによる検証と修正を重ねることで、パターン構成がシルエットの美しさに大きく影響することを学びました。



大 学 服飾学科  
インダストリアルパターンコース  
志村 祐月

### 軌跡 行末/記憶

人間は五感のうち、視覚から得る情報が大半を占めていると言われていいます。大学卒業という大きな節目に、人生という目には見えなくとも確実に存在するものを作品として可視化することで生きてきたことを実感し、今後の精神的支柱となるようなものを作りたいと考え、未来と過去に焦点を当てて制作を行いました。私は自分に自信がありません。しかし1年を通して大学生活、そして着実に歩んできた人生を振り返り、今までより少し前向きに物事を考えられるようになりました。卒業制作では4年間で学習したことを活かして私の『軌跡』を作品として表現することができました。



作品だけではなくこれらを生かして制作した期間さえも自分に自信を持たせてくれるかけがえのない時間となったと感じています。



大 学 服飾学科  
テキスタイルデザインコース  
遠藤 歩香

## 逍遥

私自身、散歩や街歩きを好み、この自分の好きな感性を作品として形にしたいと思い、このテーマを元にいくつかのプロダクト製品を製作していました。個人製作では散歩をテーマに身につけるときに心を落ち着けてくれるようなバッグを製作しました。

グループ制作では、大事な日にお守りのようなバックをテーマに少しお高いレストランをシチュエーションとしたバックをデザインし2人でメンズとレディースのリンクしたバックをデザインしました。私は3年間プロダクトで、好きなテーマをずっと研究してきました。沢山の壁にぶつかり挫折することもありました。でも、好きだからこそ乗り越えてきました。先生や同級生とぶつかっていくうちにデザインの密度や制度が上がっていくのが分かりました。そこが凄く面白くて楽しかったです。



Grandpa core



大 学 服飾学科  
ファッションプロダクトデザインコース  
尾崎 陸

## AIとデザイナーの協働によるファッションデザインの未来 —創造性・独自性・実例実践から考える—

私は、「AIとファッションデザイナー」というテーマで卒業論文を執筆しました。本論文は、3年生の流通イノベーションゼミの中でAIを使ってTシャツを制作し、実際にネット販売で売れた経験から、AIはファッションデザイナーの仕事が担えるのかという疑問を持ち、執筆したものです。Tシャツのデザインには「Maison AI」というAIプラットフォームを使用し、馬やキノコ、背景など全てをAIで生成し、後から自分たちの手で組み合わせてデザインをしたことや、アンケート調査、AIを使用する際の注意点などを考



察しました。本論文を通して、AIと人間にはできることや役割が異なり、AIはデザイナーに代わる存在というよりも、創造性を拡張するパートナーになり得ると実感しました。



大 学 服飾学科  
ファッションビジネス・流通イノベーションコース  
佐藤 優梨香

## 色の嗜好性と着装行動 ～人はなぜ色を選ぶのか～

私はファッショントレンド形成に色彩が大きく影響している事からファッションと色彩の関わりについて関心を持ち、これをテーマに研究を進めました。具体的には「嗜好性とファッションアイテムにおける選択色には違いがあるのではないか」という仮説を基に大学生に対して実施したアンケート調査の結果から仮説の検証を行うと共に、色彩の心理効果が人間に与える影響の観点から、ファッションビジネスにおいて色彩がどの様に活用出来るのかについて論じました。

本論文は先般開催された服飾文化学会にて発表の機会をいただきました。また、これとは別に卒業論文と並行して執筆した流行色に関する論文1報は、FB学会全国大会にて発表させて頂きました。これら色彩×ファッション研究を基礎とし、今後も研究を深めていきたいと考えます。



大 学 服飾学科  
ファッションビジネス・マネジメントコース  
窪田 純奈



## 人を惹きつける世界観

卒業制作では、衣装表現を学ぶ中で心を動かす作品には、その背景となる世界観が強く現れていると感じたことから、「人を惹きつける世界観」をテーマに制作しました。前期は白雪姫の毒リングをモチーフに、リングらしい丸みや艶を追求し、ペイントやヒートカッターによる加工で毒々しさを表現しました。後期はパイレーツ・オブ・カリビアンを題材に制作しました。エリザベスは18世紀貴族のジャケットを基に、優雅かつ豪快なシルエットを追求し、海賊らしさを表現しました。ティア・ダルマは骨や麻などの自然素材と、不気味なボディペイントで呪術的で悲しみを帯びた世界観を目指しました。



リサーチと自身の経験を重ねながら試行錯誤を続け、世界観への深い理解が説得力につながると強く実感しました。



大 学 服飾表現学科  
衣装表現専攻  
富澤 春花

## Winter Magic

私の卒業制作のタイトルは Winter Magicです。作品コンセプトは、プリンセスや妖精のようなファンタジーでふわふわとした世界観と、アイドルの持つ夢を追いかけるキラキラとした世界観の融合です。

作品は冬の妖精というテーマに合わせて寒色のドレスをメインに使い、白のベレー帽、ファーティベットで雪を表現しました。

袖にはハードチュールを入れ、透け感を大事にしつつもふんわりとさせることで、冬の冷たさと優しさを表しました。

今回の卒業制作において、脳内で考



えていることを実際に表現することの難しさ、自分の技術不足に直面し、挫けそうになることも何度もありましたが、約1年を通して自分の好きを詰め込んだ作品を完成させられたことは、今後の自信に繋がったと胸を張って言えます。

**大 服飾表現学科**  
**学** スタyling専攻  
徳蔵 涼海



## Telabianca life

### ～楽しいという感情の原点～

将来の夢である、ブランドを持つこと。その目標に繋がるよう、卒業制作を通して一からブランドを作成しました。ブランド名は【telabianca life】イタリア語で【白いキャンバス】という意味が込められています。

毎日の楽しい!と感じる瞬間に着れる、着回しの効く服をテーマとして設定し、アイテムの企画、制作を全て自分で行いました。実際の店舗の内装も全て制作しました。苦勞した点もたくさんありましたが、最高の仲間と最高の先生に支えて頂き、思い描いていた作品を作ることが出来ました。

卒業制作では初の試みである、お客様が見る

だけでなく、体験出来るワークショップを開催し、多くの方がネックレスやキーホルダーを作ってくださいました。ありがとうございました。



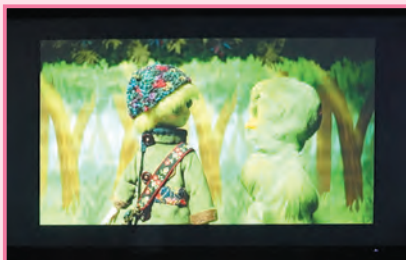
**大 服飾表現学科**  
**学** VMD(ビジュアルマーチャンダイジング)専攻  
阪本 莉子

## アベコベとアオニサイ ～ストップモーションアニメ～

授業を通して学んだ撮影技法や編集能力を総動員させて作り上げた、キャラクター、セット、ストーリー全てオリジナルのストップモーションアニメ作品。

主人公のアベコベと、その相棒のアオニサイが、緑豊かな森の中で繰り広げる冒険の物語。

映像作品の他に、作品の内容を補うキャラクター設定や制作秘話を盛り込んだパンフレットを制作した。



映像の中でキャラクターは言葉を発することもなければ、字幕もない。解釈は鑑賞者に委ねられるが、少しでも温かい気持ちになれることを祈っている。

**大 服飾表現学科**  
**学** メディア表現専攻  
我妻 美夕



## 自と他 — 身に纏うとは —

今回の修了制作では、『自と他—身に纏うとは—』のタイトルの下、自己の視点を内側の衣とし、他者の視点を外側の衣として創作した。二つの視点から見える「身に纏うとは」なにかを模索した。

言い換えれば、内側の自己を着飾る内密な「想」、それを覆い隠し、街に溶け込み視点を受け止める為の外側の「用」、とでも言おうか。対比の視点を重ね、浮き出る「身に纏うこと」の美しさ。重ね合わさる二つの造形の共存性。私はなぜそれに惹かれ続けるのか…。

また、今回は、今までの自身の制作を見つめ直すと共に、作家としての指針を整えるものとなった。

私は大学院で学んだ制作姿勢を持ち続け、今後も衣服を作り続けたい。



**大学院 造形研究科造形専攻**  
創作表現コース  
北岩 遼佳

## 『はるとなり』

修了制作『はるとなり』では、「誰かの気持ちに寄り添い、そっと後押しする」ことをコンセプトに制作を行った。きっかけは車いすで生活する祖母がこぼした「この服も、もう着ていくところがない」という言葉である。身体の変化によって外出や装うことへの意欲が失われていく状況に対し、前向きな気持ちになるきっかけを生み出せないかと考えた。

作品では、お花見を想定したバーチャル空間と祖母の身体に合わせた実物の衣服を制作した。専用ボディの制作や3Dモデリングによるシミュレーションを通して、車いす姿勢に適した服の形や構造を検証した。身体と心の両面に寄り添うデザインの可能性を探り、誰かの一步をそっと後押しできるものづくりを目指した。これからも人の気持ちに寄り添う表現を大切にしていきたい。



大学院 造形研究科造形専攻  
3Dデジタルモデリングコース  
菅谷 みちる



## 卒業制作・卒業論文・終了制作 発表風景



## ファッションビジネス・マネジメントコース

## ≡ 3つの学会で学生発表 ≡

服飾学科ファッションビジネス・マネジメントコースでは、学生の学会活動への参加を積極的に推進しており、本年度も3つの学会にて発表を行いました。

一つ目の「ファッションビジネス学会 全国大会」では、ファッショントレンドの周期性を主題に、特にトレンドカラー経年変化について調査研究を行い、顕在化された事象について論じています。

二つ目の「服飾文化学会 卒業論文発表会」では、ビジネス的視点から色彩とファッションをテーマにした卒業論文について発表を行いました。

三つ目に「国際戦略経営研究学会 秋季大会」では、2024年からの3カ年計画による他大学との共創企画『IST学生参加

プロジェクト』の一環として、ファッション産業における製造時の環境負荷に対する提言や、研究室として学修機会の創造および成長性に繋げる効果測定の結果発表を行いました。

今後も学会への学生参画や研究深化に挑戦していきたいと考えます。

服飾学科  
ファッションビジネス・マネジメントコース4年  
窪田 純奈（代表執筆）



服飾文化学会 窪田さんの発表



国際戦略経営研究学会  
鈴木教授と3年生鈴木 莉愛さん



FB学会全国大会  
鈴木教授と4年生窪田 純奈さん

新入生オリエンテーション

the First Step in SUGINO

初年次教育課程連絡委員会 水野 真由美

新入生オリエンテーション期間の最終日、4月10日(金)に3学科合同でthe First Step in SUGINOを開催致しました。『First Step』では、これから始まる大学生活をスムーズにスタートしていくための企画に参加。最初に3年生のトークショーを聞き、1年時のエピソードや、コースでの学び、写真紹介により、自身の大学生活をそれぞれがイメージしました。その後、行われた、2つの企画、学内オリエンティングと体育館での新聞タワー作りでは、グループでのコミュニケーションをとりながら、問題を解決していきました。学内オリエンティングのチェックポイントで集めたキーワードは大学生活において各自が目標を持つきっかけにもなったようです。いろいろ疑問に思っていたことを理解、不安が少しでも解消され大学生活をスタートしていることを願っています。



杉の芽コンテスト

初年次教育課程連絡委員会 水野 真由美

大学1年生、全学科を対象としたコンテストです。前期の学びから得た知識、経験を活かして制作したオリジナルの作品が応募規定です。～杉野でみつける、あなたのはじまり～に、各自思い思いのコンセプト、テーマでの応募がありました。作品は、服に限定をしません。今後、より多くの方が、応募されるよう期待します。



**グランプリ受賞者の声**

新しいことに挑戦したいという思いから今回のコンテストに応募しました。もともとモネの作品が好きで、夏休みに訪れた美術館で実物の《睡蓮》を初めて見たことをきっかけにこの作品をテーマにした服を制作しました。グランプリを受賞できたことは大きな自信につながりました。今後もさらに成長していきたいです。

服飾学科・モードテクノロジー系  
1年 錦織 由佳

授業紹介

ビューティー・メイクアップ術

中島由起子先生の「ビューティー・メイクアップ術」は、1年生の前期に開講されている人気の授業。大学生として身に付けたい美容の基本を、初心者にも分かりやすく実践的に学べると好評です。スキンケアからスタートし、化粧水・乳液・日焼け止めの使い方を丁寧に習得。そして肌タイプの理解を踏まえ、下地やファンデーション、コンシーラーで自然で美しい肌づくりを学びます。さらに、チークからアイメイクやアイブロー、リップまでトータルで学習。プロによるデモンストレーションや振り返りを通して、日常で活かせるメイク技術と自信を身に付けていきます。



いまの時代、メイクは性別関係なく楽しられています。日頃ファッションを学ぶ学生たちにとっても、メイクはまたもう一つの大事な装い。メイクでさらに魅力的になる学生たちが増えていくかもしれません。



(S.S)

「インダストリアルパターンI・II」特別授業 (株式会社 三景)

インダストリアルパターン研究室 笹部 小百合

2025年度のインダストリアルパターンI・IIでは、産学連携を見据え、株式会社三景による特別授業およびショールーム見学を実施しました。リサイクル生地を用いたブラウス製作や、開発されたねじれないゴムの採用など、実践的な素材活用を通して資材特性への理解を深めました。さらに芯地専門家の協力のもと、学生



パネばかりによる接着プレスの剥離強度テスト



伸び止めテープの接着方法



条件設定されたフラットプレス機

が使用する生地に適した芯地を事前に試験し、その結果を踏まえて最適な芯地を選定し作品製作を行いました。接着条件(温度・プレス時間・圧力)の検証に加え、芯地トラブルの事例や防止方法も学び、生地との適切なマッチングを探究しました。こうした工程を通じて、素材選択の根拠を理解し、服づくりを支える多様なステークホルダーを意識する視野と実践的判断力を養いました。次年度はI～IVを通し、協定に基づく体系的な産学連携授業を展開予定です。



三景青山ショールームにて



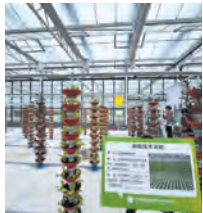
中国寧波市教育局・寧波市民政府外事弁公室主催

学生部 柴田 弘子

## 第12回「中国寧波国際大学生フェスティバル」に参加

本学と共同プロジェクトを締結しています中国寧波市にある浙江紡織服装職業技術学院の招聘により、「第12回寧波国際大学生フェスティバル」に6月9日～13日の5日間、本学学生9名が参加しました。

「寧波での出会い、未来への若者の革新」のテーマのもと、世界各国から参加した学生達と共に中国寧波市の現代的な都市景観や最新のデジタル技術を取り入れた栽培方法や



環境に配慮した循環型農業の取り組みを行っている寧波市野菜基地の見学、歴史博物館や餃子作り、書道等による異文化体験を通して、相互理解を深め、友情を築くことができた事は、参加学生達にとってそれぞれ思いの深い有意義な国際交流になったことと思います。



## 研修旅行

### 中国浙江理工大学研修旅行

ファッション画研究室 数井 靖子

杉野服飾大学の協定校である中国・浙江理工大学のご招待により、5月に学生2名と教員1名が6日間の研修に参加しました。現地の卒業制作ファッションショーでは、モードクリエーションコース、インダストリアルパターンコース、スタイリング専攻から各2点の卒業制作作品を発表しました。素晴らしいモデルの方々にごウォーキングをさせていただき、作品の新たな魅力が引き出されました。完成度の高い作品やショーの演出に、学生たちは『言葉に表せない!』と興奮していました。生成AI、3DCG、環境をテーマとしたシンポジウムへの参加や浙江理工大学・雲谷学校・聖馬丁服装設計学校との学生交流に加え、西湖の観光、ショッピング、生地問屋やブランドショップ、YIFA CLOTHING MALL見学、デザイナーとの交流を行い、中国・杭州の活気と創造性を肌で感じる研修となりました。



### パリ研修旅行

服飾学科 モードクリエーションコース 4年  
ファッションプロダクトデザインコース 3年

岩井 さつき、小針 葉奈  
田村 青空

大学卒業の直前に、憧れていたパリを訪れることができる貴重な機会となりました。天候にも恵まれ、過ごしやすい気候の中で充実した日々を過ごすことができました。滞在中はParis Fashion Weekと重なり、DiorやAlaïaの展示、島田順子さんのプレゼンテーション、Palais Galliera、Tranoiなどを見学し、本場のファッションに触れることができました。ルーブル美術館や蚤の市、歴史ある街並みや統一感のある建築も印象的でした。現地のクロワッサンやエスカルゴなども楽しみ、食文化にも触れることができ、ディナーでは他のコースや他学年と交流する機会もあり、印象に残る研修となりました。帰りは山本耀司さんや川久保玲さんと同じ飛行機で、ファッションの思い出にあふれた1週間でした。



行程	3月4日水	羽田からパリへ移動
	3月5日木	ルーブル美術館 → Fondation Azzdine Alaïa → 島田順子さんのプレゼンテーションなど見学
	3月6日金～8日日	各自自由行動
	3月9日月	パリから羽田へ移動
	3月10日火	日本帰国

### フィールドワーク見学研修

服飾文化学科 服飾文化資料研究室 菅野 ももこ

服飾文化学科では、1年次の集中授業「フィールドワーク」として、関西圏を中心に、博物館、美術館、民俗資料館など見学研修を行い、服飾文化の継承について考える機会としています。

2025度は、2月10日～12日の2泊3日の行程で、京都服飾文化研究財団(KCI)、国立民族学博物館、京都染織文化協会、手織ミュージアム織成館を見学しました。学生達は、各見学先で学芸員や修復士、職人の方々とのお話を通じて、専門的な知識、技術を有する現場の職務について理解を深め、時に伝統技術を継承する職人の方々の製作現場を間近で観察することで、作品が作られるプロセスを学びました。普段の大学生活とは異なる環境で、西洋、日本、世界の民族の衣文化に触れる貴重な体験をし、自ら考え、質問をするなど積極的な学修期間を過ごすことができました。



毎年10月に行われる大学祭。作品・企画展示、模擬店、リサイクルショップ等々、3学科各コース・専攻・クラスで企画をするバラエティに富んだフェスティバルです。中でも体育館で行われる各種ファッションショーはSUGINOならではの、40年以上続く「天竺ファッションショー」は、今年も10メートルのシーティングを使って創造性を競い合う伝統あるイベントとして大学祭のフィナーレを飾りました。  
高校生向けのオープンキャンパスも同日開催され、日頃の学生たちの姿とはちょっと違う素顔が垣間見られる2日間。来年もまた、ご家族・ご友人・高校生・地域の方々、、、皆さん、お越しください。



## 大学祭実行委員長あいさつ

服飾学科 プロダクトデザインコース 2年 永谷 友香



今年の大学祭テーマは『Re:Birth(リ・バース)』です。

「再生」「生まれ変わり」「新しい価値の創出」という想いを込めて決定しました。

サステナブルな視点が重視される現代のファッション業界において、リメイクやアップサイクルといった取り組みは非常に重要なテーマとなっています。

本学の大学祭でも、一人一人の発想や感性から新しい価値が生まれる場にしたいという思いがあります。様々な展示や企画で多くの方に楽しんでいただける内容となりました。また、ドレスコードファッションショーは1~3年の全クラス・コース参加とし、「白」をテーマカラーにチームごとにスタイリングを組み、コーディネートを競い合いました。参加した皆さんの個性あふれる表現が印象的でした。

多くの方々の協力のもと、今年の大学祭も大いに盛り上がり、無事成功を収めることができました。ありがとうございました。



## イベントに参加しました!

### シルバニアファミリー展 40th 衣装制作

入試広報課 和田 えり

1985年の発売から40周年を記念して、2025年4月25日(金)から5月18日(日)まで池袋サンシャインシティにて開催された大規模企画展覧会「シルバニアファミリー展40th」で、ドレスメーカー学院と杉野服飾大学の学生・教員が「40thアニバーサリーパーティ」をテーマに衣装を制作しました。計31点の作品が展示され、会場に彩りを添えました。本展は今後、日本全国の会場でも巡回が決定していますので是非お立ち寄りください。



### 「ゼロエミッション東京 2025」服飾文化学科が作品展示

服飾文化学科 服飾造形研究室 井口 多恵子

2026年1月24日、25日に玉川高島屋S.C.で開催された東京都環境局主催の衣類のリサイクル、リユースについて考えるイベント「捨てない!よみがえる!江戸東京 衣の循環の知恵 みんなではじめよう!服のセカンドライフ」に服飾文化学科学生の作品を展示しました。2年必修科目「リ・ファッション実習」ではアップサイクル作品制作が課題です。2025年度は自治体の取組み「めぐろ衣類回収プロジェクト」について、区の職員の方から講義を受けた後、回収された古布や古着の現場を見学しました。(2024年度はブライダル企業からレンタル使用済の振袖や帯をご提供いただき制作しました)学生は廃棄されるはずだった素材それぞれの個性を活かし、服によみがえらせるにはどうすればいいかを考えて制作しました。その過程や作品への思いを事前収録し、イベント当日に発信しました。



産×学×学連携 (株)アダストリア×青山学院大学×神奈川大学×本学FBマネジメント

## 三大学共同研究企画「商品開発プロジェクト」

服飾学科 ファッションビジネス・マネジメントコース 主任 鈴木 康久

23年度より三大学による共創企画を実施中ですが、本年度はアパレル企業を含めた産×学×学連携として服飾学部ファッションビジネス・マネジメントコースと青山学院大学、神奈川大学の各マーケティング研究室所属学生と株式会社アダストリアの共創企画を実施し、アダストリアが展開するファッションブランド「Andemiu(アンデミウ)」を通じて学生企画によるオケーションドレスの開発を実施しました。

Z世代現役大学生の視点から“未来の自分へ贈るドレス”として社会への門出を祝う「謝恩会ドレス」をテーマに、商品企画から生産プロセス、マーケティング・販促といった制作工程に携わり、リアルなアパレル商品開発の現場を学びました。実際の商品は、ショートジャケット・キャミワンピース・シアブラウスの3ピース型となっており、トレンドのジャケットスタイルを取り入れた着回ししやすいアイテムとなっています。このプロジェクトを通して異分野を学ぶ他大学の学生との交流から多くの学びと貴重な体験を得る事が出来ました。



## 三越伊勢丹×ささげ屋

## イセタンスタジオでささげ業務のEC職業体験

服飾学科 ファッションビジネス・流通イノベーションコース 主任 五月女 由紀子

株式会社三越伊勢丹×株式会社ささげ屋との産学連携により、「オンラインストア運営の実務」の職業体験を実施しました。新宿のイセタンスタジオにおいて、撮影・採寸・原稿・レタッチの実務を指導いただき、顧客がオンラインで安心して購入できる正確な商品情報の重要性、プロのスピード感を体感する体験となりました。本連携は将来のキャリア形成においてEC専門職でのささげ業務の実務体験により、新たな視野を広げる機会となったと思います。



## 株式会社ZOZO訪問

ECサイトZOZOTOWNを運営する株式会社ZOZO本社(西千葉)に流通イノベーションコース3年4年で訪問しました。建築デザインにこだわったワーキングスペース、自由な勤務スタイルを実現する働きやすい環境を見学。会社説明を通じてEC業界の最前線を学び、ファッションとデジタルの融合を体感する貴重な機会となりました。学生たちは業界の未来を肌で感じ、EC職としてのキャリアイメージを具体化できたと思います。

## 販売から商品企画まで 株式会社東京芸夢

服飾学科 ファッションビジネス・マネジメントコース 2年 黒川 こゆき



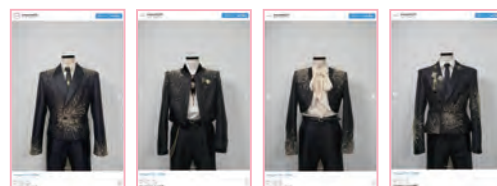
大学のインターンシップ制度を利用し、横浜のジョイナスの店舗で研修をさせていただきました。店頭では販売業務を通して様々なお客様と関わることができ、接客の楽しさややりがいを実感しました。また、本社にも伺う機会をいただき、EC業務のお手伝いや実際の商品企画会議に参加させていただくなど、普段は経験できない貴重な体験をすることができました。こうした経験を通してアパレル業界への理解が深まり、現在はアルバイトとして働くことにもつながっています。なお、アクセサリ専攻の学生はアクセサリブランドで研修を行い、日本語が堪能な留学生も参加するなど、それぞれの強みを生かした学びの機会となりました。



## 紅白歌合戦の衣装制作 AMPWORKS

服飾学科 モードクリエイションコース 3年 熊谷 莉奈

衣装デザイン会社(@ampworks295)で紅白歌合戦の衣装制作のインターンシップを経験しました。インターンシップの内容はその日ごとに変わりますが、主に男性グループのジャケットのストーン配置、ビーズ刺繍をしました。また、女性アーティストのビジュア付けなどもおこないました。同じインターンの人でも作業の進み具合によって内容も異なっていることがありました。実際に自分がお手伝いした衣装をアーティストが着ているところをテレビで見た際に、嬉しくてやりがいを感じる事ができました。



## 博学連携

## パナソニック汐留ミュージアムでの展示協力

服飾文化学科 服飾文化資料研究室 菅野 ももこ

服飾文化学科では、博学連携の一環として、博物館、美術館への展示協力を通じ、実践的な学びを探究しています。2025年度は、パナソニック汐留ミュージアムで開催されました「ウィーン・スタイルピーダーマイヤーと世紀末 生活デザイン、ウィーン・劇場都市便り」展にて、19世紀半ばの女性用ドレスの着装作業に協力しました。歴史衣装を着装するために必要となる、特殊なマネキンの取り扱い方法の習得や、各時代のスタイルを理解したうえで、アンダードレスを製作するなど、展示のための様々なプロセスを学生とともに進めました。



パナソニック汐留美術館「ウィーン・スタイルピーダーマイヤーと世紀末展」  
2025年10月4日～12月17日開催 撮影:Yukie Mikawa

## 地域連携

## 和装イベントに初参加しました!!

服飾学科 流通イノベーションコース 3年 服部 佑香

3月1日、新小岩で開催された「新小岩モダンフェスティバル」に参加しました。本イベントは、地域の賑わい創出の取り組みとして行われた、和をテーマとしたイベントです。創立したばかりの和装研究会にとって初めてのイベント参加となり、同大学のコスプレ研究会と清水学園の皆様にもご協力いただき、和装ファッションショーを実施しました。メンバーの意見を取り入れながら企画を作り上げ、それぞれが個性あるコーディネートでショーを盛り上げました。当日は多くの方にご覧いただき、温かい拍手の中で楽しく披露することができました。



## これからの時代に求められるファッション(服飾)教育 —杉野服飾大学の取り組み

令和7年度 第1回FD研修会 大学FD研究委員会  
大学院FD研究委員会 主催

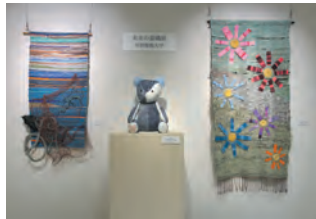
近年、ファッション業界ではサステナビリティ、デジタル化、多様性への対応など、大きな構造変化が進行しています。その変化に対応し未来につながる人材を育成するために多角的に学べる教育現場の取り組みを紹介しました。その後、ご参加いただいた16名の高校の先生方と本学の教員でグループディスカッションの時間を設け、現在の高校生の関心や志望傾向、本学に期待することなど、率直なご意見・ご質問をいただきました。今後の教育連携や進路支援の充実につなげていければと考えております。(2025年8月5日に開催)



大学FD研究委員会 井口 多恵子

## 公募展 第10回記念 全国裂織展 出展

裂織とは古くなった布を糸状に裂き、それを織り込んで新たな布へと作り変える伝統的な手織り技法です。本展の出展にあたりこの技法を知り、日本にはモノを大切に作る心から生まれた文化で溢れていると改めて実感しました。作品を作る上では、捨てられないベビー服から着想を得て「思い出の詰まったぬいぐるみ」というコンセプトのもと制作しました。似たようなデザインの生地も裂いて織ってみると全く違った表情になるので、経緯の組み合わせを考えるのも一手間楽しく制作できました。



服飾学科 テキスタイルデザインコース 2年 佐藤 優喜

## 世界のカバン博物館 ファッションプロダクトデザインコース 学生作品展示

エース株式会社が運営する「世界のカバン博物館」で、ファッションプロダクトデザインコースの卒業制作作品展を開催致しました。展示している作品は製品化までのプロセスを踏まえ、デザインを追求した4年生の卒業制作です。個人制作12点、グループ



制作6点の作品と、それぞれのコマーシャルポスターを展示いたしました。(会期:2025年5月31日~6月27日)

服飾学科 ファッションプロダクトデザインコース 主任 肉丸 美香子



## gallery Uでの「textile to展」

3年生でプリントデザインと裂織の作品を展示しました。プリントデザインでは童話やアニメなどの「物語」をテーマにきものをデザインしました。その図案をプリントした布を縫製し、コーディネートまで一貫して行いました。



裂織は緯糸に服や布を裂いて使用する技法で、何を緯糸にするかを考えたことで、それぞれの個性が出せました。制作から展示全体を通して自分には無い考え方や構成、色使いなどに気づくことができました。どうすれば人の目に留まり展示を見てもらえるかなど、工夫をする事の重要性も感じました。

服飾学科 テキスタイルデザインコース 3年 片山 怜海



## 高等学校教員対象 SUMMER SEMINAR 2025

杉野服飾大学では、2006年より高等学校教員を対象に、本学の特色を生かしたファッション関連の講座を夏期セミナーとして開催しています。実習系・講義系のプログラムで最大3講座まで受講することができます。家庭科や美術科の授業の応用に、またファッション業界やファッション研究の動向を学んでいただく機会として好評をいただいています。令和8年度は8月5日(水)開催が決定いたしました。



### 2025年度実施講座名

Aビーズ刺繍 -額装仕立て-/Bパネ工制作/C手織りを楽しむ -基本組織-/D2色の皮革で制作する/E経済指標から読取る/FファッションECと生成AIの活用/G「篤重」時代の装いを読み解く/H現代ファッションの100年(オープン教育リソース)

## 大妻女子大学博物館 「お姫様の装い - 鍋島家の復元ドレスを中心に-」展への展示協力

服飾文化学科では、学科として歴史、民族の服飾の歴史を学ぶという特色を生かし、他館の展示に協力をしています。2025年度は、大妻女子大学博物館にて開催された「お姫様の装い-鍋島家の復元ドレスを中心に-」展にて、着装作業に協力しました。学芸員課程を履修する学生も多い服飾文化学科では、現場の業務など、より実践的な学びを重視し、学生に作業の一部を担っていただきながら、展示協力に応じています。服飾文化の継承に大きな意味を持つ展覧会への協力は、学科での学びをより深めていける機会ととらえています。



服飾文化学科 服飾文化資料研究室 菅野 ももこ

## 杉野服飾大学日中服飾専門課程卒業制作作品展 「衣脈、未来を紡ぐ — 服が語る記憶と希望 —」

杉野服飾大学と中国浙江紡織服装職業技術学院との共同プロジェクトによる日中服飾専門課程の卒業制作作品31点をGallery U2と第三校舎第二展示室にて展示いたしました。衣脈として受け継がれてきた衣の技と精神が、両国の作品を通して感じられる内容となりました。本課程は2010年に浙江省寧波市に開設され、昨年6月に第13期生が卒業しております。今回の展示は、日中教育交流会の一環として、13期生と過去2年の優秀作品を日本で公開したものです。服飾造形の授業は本学教員が中国に赴き指導しております。



服飾文化学科 服飾造形研究室 宮澤 光与

# オープンキャンパスへようこそ。

本学では年間を通してオープンキャンパスを開催しています。毎回の特別企画に加え、服づくりやデザイン、メディアやエンターテイメントからファッション文化まで、各学科の学びを体験できる多彩なプログラムを用意しています。教職員や学生スタッフとの交流を通して、キャンパスの雰囲気やリアルな学生生活を感じていただけるのも魅力のひとつです。あわせて、各学科の教育内容や特色についても丁寧にご紹介し、本学の学びや教育環境への理解を深めていただける機会となっています。ここでは2025年度の様子と、2026年度の日程・企画をご紹介します。

## 各学科の学びがわかる！ファッションショー

8月24日のオープンキャンパスでは、服飾学部全学科による合同ファッションショーを行いました。服飾学科、服飾表現学科、服飾文化学科の日頃の学びの中で制作した作品を、在学生がモデルとなってファッションショー形式で紹介。実際のショーでは服飾表現学科の学生たちが進行、演出を手掛けました。学科・コースそれぞれの魅力と特徴がわかるファッションショー。2026年度も開催します。どうぞお楽しみに。



## オープンキャンパス 2026

\*内容は変更になることがあります。大学HPで事前にご確認ください。

日程	特別企画・授業体験等
4月26日(日)	企画:服飾文化学科「実演!トリッキーなファッション 19世紀のドレスの秘密」 体験:ファッションプロダクトデザインコース
5月31日(日)	企画:FB・流通イノベーションコース 卒業生&在学生トークショー 体験:ファッションプロダクトデザインコース
6月20日(土)	企画:モードクリエーションコース 作品解説&ファッションショー 体験:インダストリアルパターンコース ファッションプロダクトデザインコース
7月20日(月祝)	企画:モードテクノロジー系卒業生トークイベント 体験:初年次服飾造形基礎 ファッションプロダクトデザインコース
7月21日(火) ~23日(木)	日野キャンパス授業見学会
7月28日(火)	目黒キャンパス授業見学会
8月6日(木)	企画:FB・マネジメントコース×BEAMS トークショー 体験:サークル、ビューティーメイクアップ術
8月16日(日)	企画:服飾表現学科 体験:服飾文化学科「歴史の装い体験」
8月22日(土)	企画:全学科ファッションショー 体験:服飾文化学科「歴史の装い体験」
9月13日(日)	入試対策講座
10月24日(土)	全国ファッションデザインコンテスト・進学相談
10月31日(土)	SUGINO FESTIVAL・進学相談会
11月1日(日)	SUGINO FESTIVAL・進学相談会
11月28日(土)	教育実習報告会・進学相談会
12月20日(日)	企画:就職関連報告会 体験:初年次服飾造形基礎
2月6日(土)	卒業制作発表会・卒業研究展示・進学相談
3月28日(日)	授業体験会・学生企画(1年間を振り返って)

【午前コース】10:00~12:30 【午後コース】13:30~16:00  
【1日コース(予約制)】10:00~15:00 ランチ付き

## 高校生のための授業体験会

8月7日のオープンキャンパスでは高校生のための授業体験会が同時開催されました。「手先が器用ではないけれど」「授業の流れについていけない不安だけれど」…。そんな心配は無用です。本学教員によるやさしく、丁寧な授業で、楽しく学べる毎年好評をいただいている体験会です。できあがった作品は持ち帰って日常で使えるようなものばかり。授業体験会は春休みにも開催しています。



### 授業講座

A ギャザースカートを作ろう/B はじめてでも描ける!ファッション画/C 金属でアクセサリーをつくる/D 作って、着て、学ぶ世界の民族服飾/E オリジナルニット生地製作/F 不思議なマスコットケースを作ろう/G デジタルdeファッション画/H チュールのパニエを作ろう/I 編み上げがポイントのビスチェを作ろう/J 手縫いでつくるレザーカードケース

### 教職課程

### 教職模擬授業

本学の教職課程「特別授業・教壇模擬演習プログラム」は、平成19(2007)年度より3年間「私立大学経常費補助金特別補助「教育・学習方法等改善支援」」に採択されたプログラムです。以来継続して実施しております。毎年度、教職3年生が2月に実施します。単位化しています。今回は、特別授業が3コマ、教員役、生徒役に分かれた模擬授業を7組が実施しました。4年次に実施する「実地教育実習」の事前指導に位置づけています。教職2年生は各自1コマの見学をしました。外部からも高い評価を受けているプログラムです。

教育実習研究室 白井 勝美



### 学芸員課程

### 実習旅行

9月にあった長崎での実習旅行では、各自が事前に調査テーマを決め、ハウステンボス美術館や波佐見町歴史文化交流館、海きららなどを巡り、それぞれの目線から見学や体験を通して各館の展示の特徴や工夫を学びました。

同じ場所で同じものを見ていても、調査テーマが違うだけで展示の見方や感想が変わってくることにとても驚かされ、実習報告会では、他のメンバーの発表を見て「そんなところまで見てたんだ」と自分では気づけなかった発見があり、視点を変えるだけでさまざまな捉え方ができるのだと実感できました。

服飾学科 モードクリエーションコース 4年 吉住 叶羽



波佐見町歴史文化交流館見学

私は美術家兼デザイナーの活動をしています。教員の研究が学生への教育に直結しているため作品制作にエネルギーを注いでいます。

2025年度は以下の展示・オブジェ制作・デザインの活動を行いました。

現在はレントゲンヴェルケというコマーシャルギャラリーの取扱作家として活動。他3社のギャラリーからオブジェ制作の依頼を受けています。またファッション色彩能力検定の3級・2級・1級の作問と採点を担当しています。

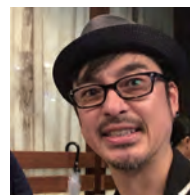


「オートモビルカウンシル2025」(幕張メッセ 千葉)  
「巧術-The Answer of Japanese contemporary art」  
(池内美術 京橋)

「玄趣」(玄趣庵 調布)  
「玄趣25承」(金澤水銀窟 金沢)  
「KOGEI Art Fair Kanazawa」  
(ハイアットセントリック 金沢)

オブジェ制作  
ザ・ファインタワー名古屋今池 オブジェデザイン・制作  
プラウドタワー小岩 フロント オブジェデザイン  
京急EXイン 横浜駅東口 オブジェデザイン・制作

デザイン  
佐渡市立相川小学校 校章デザイン  
日中国際アニメ映画祭 ロゴマークデザイン



色彩学研究室  
桐山 征士

## 学生相談を軸とした心理臨床実践と教育の取り組み

本学における教育研究活動の一つに、学生相談を基盤とした心理臨床実践と、その知見を教育への還元に取り組んでいる。学生相談室では、学業・進路・対人関係など多様な課題に対して継続的に関わり、学生一人ひとりの語りや背景に丁寧に向き合う支援を行っている。心理カウンセリングは、私見ではあるが推理小説を読み進める過程にも似ており、最初に提示される問題だけで結論に至るのではなく、語られる言葉の選び方や沈黙、出来事の前後関係といった様々な手がかりをもとに、少しずつ全体像を浮かび上がらせていく。その過程においては、当初の見立てを修正しながら、学生とともに新たな理解に到達していく点に臨床の醍醐味がある。技法の一つとして認知行動療法の視点も取り入れつつ、認知・感情・行動・身体との相互作用に着目しながら、思考や行動のパターン等を整理し、より適応的な捉え方や行動の選択を支援している。なお、現在、都立高校において心理教育およびカウンセリング実践に携わり、思考の特徴や対人関係に関する理解を促す取り組みを行っている。臨床実践から得られた知見は、本学での授業や心理教育に活かされ、学生の自己理解を深めることや、主体的な行動の選択を支える基盤となっている。また、教職員との連携を通じて支援の見立てを共有し、環境調整を含めた多面的な関わりを行っており、これらの実践を重ねる中で、臨床と教育を往還する教育研究の深化を目指している。



心理学研究室  
手島 陽介

## 日野キャンパス訪問

服飾表現学科では、2年次以降の主な学びの場として日野校舎を使用します。

校舎内には、写真や動画の撮影ができる本格的なスタジオ「VISUAL STUDIO」をはじめ、映像制作や編集のための最新機器がそろっており、自分の作品の魅力をさまざまな方法で表現することができます。

天井高6メートルの開放的な空間をもつ「DESIGN WORK STUDIO」では、広々とした環境の中で自由な発想を形にしながら制作に取り組むことができます。

また「CGワークルーム」では、撮影した写真や映像を編集・加工し、映像作品やポスター、写真集などへ発展させることも可能です。さらに、周囲に高い建物がない開放的な屋上や、四季折々の花が咲く「SUGINO GARDEN」も撮影場所として活用されており、自然光を生かした作品づくりにも挑戦できます。



これらの設備は授業以外の時間にも利用できるため、自然豊かで静かな環境の中、学生一人ひとりが主体的に制作に取り組みながら表現力を磨いていきます。

服飾表現学科  
ファッション画研究室  
数井 靖子



## 新任の先生

私の専門は英語学・相互行為言語学で、人が言語や非言語(身ぶり・視線など)を用いてどのように意思疎通を行うかを研究しています。最近では、クラシックバレエの指導場面における英語使用に関心を持ち、身体表現とことばの関係について分析しています。

英語はコミュニケーションの手段であり、文法の正確さよりも伝えようとする姿勢の方が重要だと考えています。授業ではファッションに関連する記事や動画を取り入れ、皆さんの専門分野に近い題材を通して実践的に使える英語を目指します。言語に限らず、多様な表現を学び、相手と柔軟に伝え合う力を育てていただければと思います。

英語研究室 助教 草場 千紘



令和7年度 第2回FD研修会 大学FD研究委員会/大学院FD研究委員会主催

## 「服作りの知見」をAIで拡張する最新事例で学ぶ アパレルDXと「Real Fusion CG」の可能性

講師:タニデジタルラボ株式会社 CEO 谷本 広幸氏

教員研修会は、ファッションビジネス流通イノベーションコースで特別講義をご担当の谷本先生にご講演いただきました。はじめにアパレルDXについての基本情報とアパレルDX事業の動きについて3つのキーワード3DCG, PLM, AIとともにご説明いただきました。次に「Real Fusion CG」について、AIと3DCGでデザイン、開発、販促、販売まで行う流れを説明いただき、実在のモデルのように服を着てポーズする画像を拝見いたしました。また最新のAIプラットフォームの実状についての説明いただき、短い時間でしたが大変充実した研修会となりました。(2026年3月4日実施)



大学FD研究委員会 井口 多恵子

## 第43回 毎日ファッション大賞 鯨岡阿美子賞 受賞!

鯨岡阿美子賞は、ファッション界の発展に寄与し優れた功績のあった、デザイナー以外の人に贈られる、毎年大きな注目を集める賞だ。その栄誉ある賞を受賞した卒業生・宮浦さんの仕事はファッションキュレーター。繊維産地の魅力を発信し、人と人、産地と人を繋げていく仕事だ。

宮浦さんがこの仕事をはじめたのは、日本の繊維産地の危機的な現状に気づいたからだ。産地とデザイナーとのミスマッチや、そもそも若い人たちが産地のことをよく知らないという問題がある。宮浦さん



産地の学校



知多木綿の産地で手織り職人さんと 「セコリ荘」の前で。イタリアの大学院生と

の活動によって、産地好きな人が増えれば、これらの産業を未来へ繋げていくことができるのだ。今でも年間200箇所以上の工場を巡っているという宮浦さん。テキスタイルの魅力や可能性を現場で一から教えてくださった全国の職人さんへの感謝の時間の積み重ねが、今日の活動を支えているのだという。ファッションの未来を支える宮浦先輩の今後の活躍に期待したい。

(T.I)

### プロフィール

宮浦 晋哉  
株式会社糸編代表

2011年、服飾学科モードクリエイションコース卒業

ロンドン留学を経て、2013年、東京・月島にものづくりコミュニティスペース「セコリ荘」開設。2017年、「株式会社糸編」設立、「産地の学校」開校。全国の繊維産地と国内外のデザイナーの橋渡しや産地ツアー、情報発信や教育活動などを行う。

## 卒業生ブランド KoH T

梶泰佑さん、小澤由美子さん 経済産業省・(株)INFOBAHNIによるクリエイター・エンタメスタートアップ創出事業「グローバルファッションIP創出プログラム」に採択されました!

KoH T(コーティー)の特徴の一つは、日本各地で守られてきた高度な技術とのコラボレーションだ。上記事業は海外マーケットを視野に活躍できるファッションブランド・デザイナーを支援するもので、日本各地の産地や技術などの資源を、どのようにして世界に通用するものへと昇華するかが問われた。KoH Tの企画は、西陣織を現代のラグジュアリーファッションとして再定義するというもの。西陣織を歴史によって培われた「思想の塊」と定義し、その技術と美意識を現代のモードとして蘇らせた。今後は、産地連携による高付加価値モデルを確立し、本格的なグローバル展開を進めていくという。梶先輩、小澤先輩の活躍に注目していこう。

(T.I)



京都・西陣織の伝統美を現代のラグジュアリーファッションへ

### プロフィール

梶 泰佑 クリエイティブディレクター・デザイナー

2010年、服飾学科モードクリエイションコース卒業

在学中にJFW新人デザイナーファッション大賞グランプリ、2009年、神戸ファッションコンテストで特賞、ノッティンガムトレント大学に留学。帰国後、国内産地との素材開発協力や、企業のブランドディレクターを経て、2019年にKoH Tを設立。

小澤 由美子 デザイナー・PR

2009年、服飾学科モードクリエイションコース卒業

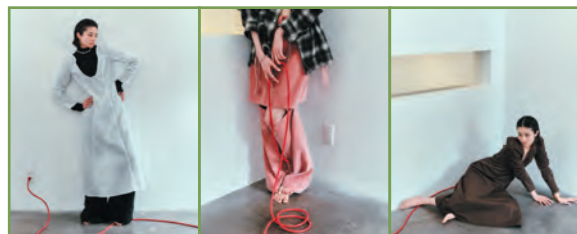
大学卒業後、BEAMSとBAYCREW'Sを経て、ファッションブランドの店舗マネジメントやスタイリング指導に従事。2019年に梶とともにKoH Tのデザイナー活動を始める。



## ものをつくる動機について — 後輩たちへ —

私はodd\_という名前で、洋服の発表と縫製を用いた造形作品を制作しています。この活動は、大学2年生の頃に誘われて参加した展示会から始まりました。そして恐ろしいことに、私はodd\_に生活を賭けて大学院までも修了してしまいました。気づけば今も何とか暮らしています。このような機会を頂いたので、恐ろしいとも賭けだとも、あるいは決断ともあまり思わずに選んだ感覚やその選択をした動機について書かせて頂きます。

先の通り、私は在学中に洋服を発表するきっかけがあり、そのときに初めて授業外で洋服を作りました。洋服を発表することは、私的な興味の対象だったものづくりに、社会的な意義のようなものを与えてくれました。この体験は私にとってとても重要でした。展示をして以降、授業や日常生活の中で受けた刺激をどう作品に反映するかを考える習慣が生まれました。それがとてつもなく刺激的で、ずっとこんなことをしたいと考えていました。もはや説明も不要かと思いますが、これが動機の正体です。



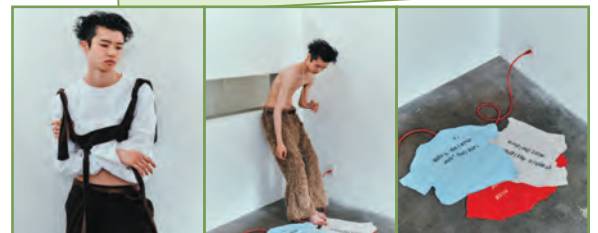
その後も作り続け、葛藤しながら大学院に進学しました。そして大学院で、洋服と縫製を用いた造形を発表するodd\_の現在の活動の原形ができました。

私自身、何か特筆すべきものがある学生ではありませんでしたが、洋服の発表を通して考えることと作ることが結び付き、その引力に引き寄せられて今ここにいます。もちろんこれは私にとってのことなので、あなたがすでに何かに引かれている人でも、まだ言葉にはならなくても、何か気になるな、と言う感覚を持って居て欲しいなと思います。ささやかな体験ですが、同じようにものづくりを志す誰かの役に立てば幸いです。

### プロフィール

タカヤマ ミチヒコ odd\_ デザイナー

服飾学部服飾学科  
モードクリエイションコース 2015卒業  
大学院造形研究科造形専攻 2017年修了



### 就活生へメッセージ

この春、多くの卒業生が大学での学びを活かし、希望する職種や業界への就職を実現しました。就職先は、(株)オンワード樫山や(株)アダストリア、(株)ユニテッドアローズなどのアパレル企業をはじめ、IT、美容、教育など幅広く広がっています。先輩たちに共通していたのは「早めの行動」です。2年生のうちから業界・企画研究を始め、3年生の夏には各社が開催するインターンに参加することで、自分に合う業界や企業を早期に見極め、効率的に就職活動を進めていました。皆さんも大学で培った専門性を自信に変え、早めの準備で理想のキャリアを切り拓いてください。

#### 主な就職先一覧

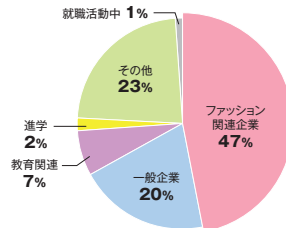
**ファッション関連:** (株)オンワード樫山、(株)アダストリア、(株)ユニテッドアローズ、(株)シッパス、(株)パル、(株)ジュン、(株)マッシュスタイルラボ、(株)パロックジャパンリミテッド、(株)ウィゴー、クロスプラス(株)、牧村(株)、住商モンブラン(株)、(株)BANKANわものや

**小売・流通関連:** (株)ゲオホールディングス、(株)ノジマ、ユザワヤ商事(株)

**美容・健康関連:** (株)ディーエイチシー、(株)LAVA International

**情報通信関連:** (株)LIG、(株)KSK、Y&I Group (株)

**教育関連:** (株)ポピンズエデュケア、神奈川県教育委員会、千葉県教育委員会



## INFORMATION

### 図書館

図書館ではポスターやSNSを通じてお知らせを発信していますが、意外と見逃されてしまうこともあるようです。特にポスターは長年掲示していますが、残念ながら「見ていない」という声も。そこで、少しでも目にする機会を増やすため、学内で出番を待っていた(?)ポディたちに、昨年から館内掲示スタッフとして活躍してもらっています。文句も言わず日々図書館からのお知らせを掲示し続けてくれる助っ人に感謝です。ご来館の際は、勤務中の助っ人への労いとともに、ポスターにも目を向けていただくと嬉しいのです。



### 博物館

衣裳博物館では「収藏品展 アジアの民族衣装」を開催中です。本展は、多くの方にとって親しみやすい民族衣装の中からアジアに焦点を当てています。アジアの民族衣装には、着物に似た衣服も見られますが、詳細は国や地域により少しずつ異なります。かたちや素材、装飾にはそれぞれの国や地域、民族による特徴が現れています。1階は日本の着物とアイヌの衣装、2階は東・中央・南・西アジアの衣装を展示します。皆様のご来館をお待ちしております。  
※本学学生・教職員は無料。学生は、受付にて学生証をご提示ください。



### アカデミックカレンダー 2026・2027

4/1(水)	編入学入学式
4/4(土)	入学式
4/4(土)~4/10(金)	新入生オリエンテーション
4/10(金)	ファーストステップ IN SUGINO
4/11(土)	前期平常授業開始
4/18(土)~4/24(金)	履修調整期間
4/29(水・祝)	昭和の日 ★水曜日の授業実施日
5/2(土)	4/29の振替休日
5/12(火)~5/17(日)	後期履修登録期間
6/1(月)~6/21(日)	4年教職課程教育実習
7/30(木)	前期平常授業終了 ★月曜日の授業実施日
7/31(金)~8/3(月)	試験・補講・集中授業期間
8/7(金)	採点結果発表 追再試験手続き
8/9(日)~8/23(日)	一斉休業(全学)
9/1(火)~9/3(木)	追再試験
9/5(土)・11(金)・12(土)	2年映像制作(日野)
9/7(月)~9/16(水)	集中他
9/11(金)~9/14(月)	見学・研修期間
9/24(木)	後期平常授業開始

9/29(火)~10/4(日)	選択科目履修調整期間
10/23(金)	補講日
10/24(土)	全国ファッションデザインコンテスト
10/30(金)	平常授業休講・大学祭準備
10/31(土)・11/1(日)	大学祭
11/2(月)	創立記念日
11/4(水)・5(木)	大学祭 振替休日
11/23(月・祝)	勤労感謝の日 ★月曜日の授業実施日
11/26(木)	11/23の振替休日
12/23(水)	平常授業終了(冬季休業前)
12/24(木)	冬季休業開始
1/6(水)	(冬季休業明け)平常授業開始
1/13(水)	★月曜日の授業実施日
2/1(月)	後期平常授業終了
2/2(火)~2/5(金)	試験・補講・集中 次年度オリエンテーション
2/4(木)~2/12(金)	卒業制作・卒業論文発表会
2/9(火)	採点結果発表 追再試験手続き
2/17(水)~2/19(金)	追再試験期間
3/19(金)	卒業式



大学Instagram



大学LINE



大学X



公式SNS 杉野服飾大学・大学院の最新情報は各種SNSで配信しています。ぜひご覧ください。



大学facebook



大学YouTube



大学院Instagram



### Sugino 杉野服飾大学報 No.49

編集 鈴木桜子、井口多恵子、伊藤高広、  
数井靖子、菅野ももこ、笹部小百合、  
高橋大夢、羽賀友美、水越綾

表紙デザイン 桐山征士

発行日 2026年6月1日

発行 杉野服飾大学教授会

印刷 株式会社文化カラー印刷